

第1期三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況

「（第1期）三豊市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和元年度を以て、計画期間終了となったことから、数値目標およびKPIの達成状況に基づき、その成果と今後への課題を示すものです。
なお、三豊市総合戦略では、4つの基本目標に対しそれぞれ数値目標を設定するとともに、各基本目標に基づく具体的な施策・事業においてKPI（重要業績評価指標）を設定しています。

＜基本目標1＞活力と人の流れのある“強い三豊”をみんなでつくる

数値目標	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
①社会増減（転入者数－転出者数）	人	▲234	▲53	▲140	▲207	▲96	▲143	▲26程度	未達成

【施策の基本的方向】1-1 企業立地と産業振興による雇用の場の確保

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
②特定創業支援事業（創業支援セミナー）利用者数	人	46	54 (累計：100)	52 (累計：152)	48 (累計：200)	31 (累計：231)	37 (累計：268)	200 (累計)	達成
③特定創業支援事業利用者の創業者数	人	7	6 (累計：13)	11 (累計：24)	15 (累計：39)	10 (累計：49)	9 (累計：58)	50 (累計)	達成
④企業立地促進奨励金交付企業数	社	5	3 (累計：8)	1 (累計：9)	4 (累計：13)	5 (累計：18)	8 (累計：26)	11 (累計)	達成
⑤企業支援・経営等相談件数	件	157	238 (累計：395)	121 (累計：516)	123 (累計：639)	143 (累計：782)	172 (累計：954)	750 (累計)	達成
⑥竹資源利活用のための伐採・製造従事人員数（増加者数）	人	0	4 (累計：4)	0 (累計：4)	0 (累計：4)	0 (累計：4)	0 (累計：4)	10 (累計)	未達成
⑦認定農業者数	人	242	264	260	258	249	234	260	未達成
⑧農業生産法人数	法人	18	22	21	26	26	26	20	達成
⑨集落営農組織数	組織	23	25	16	17	18	19	30	未達成
⑩新規就農者数	人	76 (※H22～26累計)	30 (累計：30)	27 (累計：57)	18 (累計：75)	12 (累計：87)	28 (累計：115)	50 (累計)	達成
⑪6次産業化に新たに取り組む農業経営体数	経営体	10 (※H22～26累計)	2 (累計：2)	0 (累計：2)	2 (累計：4)	5 (累計：9)	2 (累計：11)	10 (累計)	達成

【施策の基本的方向】1-2 移住・定住の促進

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
⑫空き家バンク制度を利用した県外からの移住者数	人	55 (※H24～26累計)	41 (累計：41)	19 (累計：60)	24 (累計：84)	39 (累計：123)	16 (累計：139)	80 (累計)	達成
⑬空き家バンク制度により利活用された空き家の数	件	89 (※H24～26累計)	57 (累計：57)	48 (累計：95)	39 (累計：134)	57 (累計：191)	45 (累計：236)	150 (累計)	達成

【主な事務事業名】

- ・企業立地促進事業
- ・地域商社づくり事業
- ・農業振興一般管理事業
- ・産業振興事業
- ・農業経営基盤強化促進事業
- ・定住促進事業

持続可能な地域産業の創造をめざし、創業支援セミナーの開催や一定の要件を満たす企業への奨励金により、産業振興と雇用機会の拡大を図ってきた。

起業のスタートアップや設備投資の促進においては効果的だったが、事業承継や人材確保などには課題が残ることから、多様なニーズに応える支援制度を充実させ、成果を重視した取り組みへと発展させなければならない。

また、新型コロナウイルスの影響により、域内消費や観光需要が落ち込んでいることから、回復、さらに好転させる取り組みを進めることは急務である。

加えて、市の基幹産業の一つである農業を、さらに魅力的な産業へと発展させるための取り組みとしては、新規就農者や担い手の育成、六次産業化の支援、薬用作物など高付加価値農産品の栽培促進等を行ってきた。

農業従事者の高齢化が進行する中にあるのは、農地や栽培ノウハウの継承は今後も課題であり、被害が拡大する有害鳥獣対策についても安定的な農業経営に向けて、継続的な施策展開が求められる。

本市でも高齢化や人口流出による空き家が増加しているが、その空き家を活用した移住定住支援として、空き家バンク制度の充実に取り組んできた。

住居を探す人々からの注目も高く、移住者・定住者の確保に対し、一定の効果があったと言えるが、居住以外の空き家活用についても研究を深め、さらなる地域活性の資産として活用を進めたい。

どの事業においてもKPIについては、概ね目標を達成することができたが、施策全体における数値目標である社会増減については、目標に遠く及ばない結果となった。

今後は、人を呼び込む施策だけでなく、人口流出を食い止める施策との両輪により人口確保に努めるとともに、産業の発展や関係人口の拡大による経済循環の活性化を図り、にぎわいあふれる三豊の実現をめざしていく。

<基本目標2>安心して暮らせる“やさしい三豊”をみんなでつくる

数値目標	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
⑭合計特殊出生率	-	1.51	1.51 (1.48)	1.51 (1.48)	1.57	1.57	1.57	1.60程度	未達成

※⑭市町村単位で算出する場合は、偶然変動の可能性が高いことから、5年に一度厚生労働省より発表されるため、新たなデータが公開されるまでは公開済のデータを最新データとする。平成27・28年度末のカッコ内は、市独自計算による。

【施策の基本的方向】2-1 子育て支援と教育の充実

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
⑮地域子育て支援拠点事業実施箇所数	箇所	4	3	4	4	6	6	5	達成
⑯民営化した保育所数	箇所	0	0 (累計: 0)	0 (累計: 0)	1 (累計: 1)	2 (累計: 3)	0 (累計: 3)	3 (累計)	達成
⑰待機児童数(空き待ち者数)	人	70	61	58	86	83	80	40	未達成
⑱小学校数	校	24	20	20	20	19	19	18	未達成
⑲図書館来館者数	人	197,501	192,108	192,640	182,597	208,007	190,677	210,000	未達成

【施策の基本的方向】2-2 健康長寿のまちづくり

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
⑳市立の医療施設数	箇所	5	5	5	5	5	5	5	達成
㉑特定健康診査の受診率	%	42.1	42.1	43.5	43.9	45.1	48.0	60.0	未達成
㉒特定保健指導の実施率	%	25.2	25.5	18.8	22.4	23.4	38.8	60.0	未達成
㉓各種がん検診受診率	%	39.5	43.6	24.5	18.4	17.8	17.7	50.0	未達成
㉔要介護認定者数	人	4,063	4,252	4,336	4,416	4,497	4,516	4,446	達成
㉕シルバー人材センター会員数	人	649	621	592	557	536	583	880	未達成

【施策の基本的方向】2-3 女性が輝くまちづくり

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
㉖法令等に基づく審議会等の女性委員の割合	%	21.3	22.2	23.5	23.5	24.0	22.0	30.0	未達成
㉗事業所内子育て支援環境整備推進事業補助金交付件数	件	—	3	10	8	12	10	12	未達成

【主な事務事業名】

- ・保育士確保・待機児童等対策事業
- ・放課後児童クラブ運営事業
- ・図書館管理運営事業
- ・こども未来推進事業
- ・つどいの広場事業
- ・一時預かり事業
- ・健康増進事業
- ・シルバー人材センター運営補助事業
- ・老人クラブ補助事業
- ・男女共同参画事業

子どもが安心安全に通園・通学するための環境整備は当然のことながら、核家族や共働きが主流となった現代においては、仕事と家庭の両立を実現できる社会への期待が高まっている。

中でも待機児童の解消に向けては、積極的な保育士確保に取り組むとともに、保育園の新設や指定管理制度を導入した公立保育園の運営など、官民が一体となって受け皿確保に取り組んだ。

また、子育て支援センターやつどいの広場の充実や子育てに関する各種サポート制度、事業所が行う子育て環境の整備に対する支援等により、子育てしやすいまちの実現に努めた。

しかし、待機児童の完全解消には至らず、今後も育児・保育ニーズを敏感に捉え、支援を続けていく必要がある。

併せて、市民が生涯健康に暮らせるよう、地域医療体制の整備や特定健診、予防接種事業等による健康増進、高齢者の生きがいづくりに取り組んだ。

健康寿命の延伸に向けては、生活習慣病の重症化などが課題であることから、市民が自主的かつ継続的に健康増進に取り組むことができる仕組みを構築し、健康づくりが日常的に行われるまちをめざす。

また、第3次男女共同参画プランの策定や三豊市男女共同参画推進条例の制定を行い、性別や年齢にかかわらず、自分らしく輝くことができるまちをめざし、取り組みを進めている。

KPIについては未達成が多く、数値目標である出生率についても、全国平均より高い水準を維持しているものの、目標には達していない。

それぞれが思い描くライフスタイルを実現しながら、子どもを持ちたいという希望がかなうまちになるため、多様化する価値観に柔軟に寄り添う風土づくりに取り組むとともに、これまで以上に、地域全体で子どもを守り、育てるためのサポート体制を整えていかなくてはならない。

＜基本目標3＞特性を生かした“楽しく安全な三豊”をみんなでつくる

数値目標	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
㉔観光客入込者数（年）	千人	1,436	1,454	1,363	1,492	1,744	1,954	1,650	達成

【施策の基本的方向】3-1 快適・安全で魅力あるまちづくり

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
㉔リサイクル率	%	34.1	34.6	39.74	62.3	63.9	62.1 (暫定値)	46.7	達成
㉔汚水処理人口普及率	%	51.8	54.4	56.7	59.3	61.0	62.5	67.0	未達成
㉔自主防災組織の活動カバー率	%	64.3	68.4	72.0	72.7	73.7	76.0	75.0	達成
㉔各地区文化祭への来場者数	人	11,650	13,500	15,570	14,153	14,910	13,342	12,000	達成
㉔市営スポーツ施設利用者数	人	321,644	322,213	373,198	403,771	407,837	396,240	330,000	達成

【施策の基本的方向】3-2 観光・交流人口の拡大

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
㉔市内インターチェンジ出入交通量	千台	2,798	2,747	2,784	2,790	2,864	2,939	3,215	未達成
㉔高速バス停留所利用者数	人	6,575	7,038	7,709	8,501	8,596	7,794	7,555	達成

【主な事務事業名】

- ・塵芥処理事業
- ・浄化槽整備推進事業特別会計
- ・集落排水事業特別会計
- ・防災一般費
- ・文化・芸術事業
- ・保健体育推進事業
- ・観光振興事業
- ・離島振興事業

循環型環境都市をめざし、ごみの18分別やダンボールコンポスト、生ごみ処理機の導入補助を実施するとともに、日本初のトンネルコンポスト方式を採用したごみ処理施設「バイオマス資源化センターみとよ」を、民間活力を最大限に生かすことができる民設民営方式により建設した。

併せて、全国で相次ぐ自然災害から生命を守るため、一人ひとりの防災意識を啓発するとともに、共助機能となる自主防災組織の育成強化に努めてきたが、不測の事態にも迅速に対応できるまちとして、さらなる強靱化が必要。

また、日々の楽しみや豊かさを育てるとして、文化芸術活動の推進やスポーツの振興に取り組んだ。

特にスポーツについては、スポーツ推進計画に基づき、各世代に合わせたスポーツの推進やスポーツによる交流の推進と地域活性化、それを進めるための体制強化・環境整備を実施していくこととしている。

KPIは概ね達成しており、数値目標である観光入込客数についても目標値を大きく超えて達成できた。

ただし、KPIと数値目標の関連性が低いことに加え、数値目標については近年における父母ヶ浜のブレイクを最大要因とする目標達成であることから、総合的な目標設定を再考した上で、強く楽しい三豊の実現をめざしていかなくてはならない。

<基本目標4>地域内分権等による“持続可能な三豊”をみんなでつくる

数値目標	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
③⑥「今の場所にずっと住み続けたい」と答えた市民の割合	%	61.3	61.3	61.3	62.4	—	—	65.0	計測不能

※アンケート実施年度…平成29年度

【施策の基本的方向】4-1 地域内分権の推進

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
③⑦市ホームページ1日当たり平均アクセス数	件	6,224	8,037	8,740	9,061	8,150	8,979	10,000	未達成
③⑧まちづくり推進隊への市民参加率(活動参加者/国勢調査人口)	%	15.2	14.9	16.8	14.0	15.4	14.6	25.0	未達成

【施策の基本的方向】4-2 新しいまちづくりとネットワークの形成

KPI(重要業績評価指標)	単位	平成26年度末 (基準値)	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	目標値	達成状況
③⑨公共施設の再配置による施設の削減面積(累計)	m ²	—	6,787	7,327	8,539	8,867	13,304	15,805	未達成
④⑩コミュニティバス年間乗車人数	人	306,518	294,533	287,329	285,448	285,168	285,444	340,000	達成
④⑪離島航路年間運行収益	千円	42,125	32,471	33,214	41,268	28,744	33,096	29,202	達成

【主な事務事業名】

- ・ 広聴広報事業
- ・ コミュニティバス運行事業
- ・ 公共施設再配置事業
- ・ 地域内分権推進事業
- ・ 離島振興事業

自分たちのまちは自分たちでつくるという地域内分権の考えのもと、市民の自主性や当事者意識に基づく地域活動組織として、各町で発足した「まちづくり推進隊」を中心に、市民が自ら行うまちづくりへの支援を行った。

それぞれが特性を生かした地域活動を行う中で、行政とは違う存在として再認識し、持続可能なまちの創造に向けて、さらに地域が一体となって取り組むための中核組織として成長が期待されている。

加えて、KPIは未達成であるものの、広報誌の創意工夫やホームページのリニューアルを行うことで、積極的に市の情報を市民等に発信するとともに、まちづくりへの関心の醸成を図った。

情報量の増加とその伝達手法が多様化する中、必要な情報を必要なときに必要とする人に伝えるためには、デジタル化の推進やプッシュ通知による発信を取り入れるなど時代の潮流に沿った工夫が必要である。

また、これまでの各地域における生活圏を守る多極分散型のコンパクトシティの実現に向けては、交通を始めとするネットワークの整備が不可欠である。

これまで通り既存交通の維持を図ることは当然ながら、新たな交通手段についても検討を進めていく必要がある。

大きな反省点として、数値目標に検証困難な指標が設定されており、基本目標全体の進捗状況を計ることができなかった。

第2期総合戦略では、毎年度計測でき、総合的な事業進捗を示す指標を設定し直したことから、改めて地方創生の実現度を正しく計っていきたい。